

No.

92

2025.08

BSI HILAU

TOPICS

- ・ 設立50周年記念式典報告
- ・ 認定校 設計積算コンペ 審査結果発表
- ・ 若手トーク オンとオフ
(溝上 亜寿美さん、藤野 空哉さん、石田 早希絵さん)
- ・ 「平城宮跡第一次大極殿院東楼復原整備工事」見学会

コストがわかれば 建築が見える！

公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部

The Building Surveyor's Institute of Japan (BSIJ)

ホームページ



公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部

Facebook



積算業務の効率化に貢献する

TDS Application Series

「見積」^{five}V

「あつたらいいな」が標準装備でスマートなシステム



TOMOデータサービス株式会社

〒530-0022 大阪市北区浪花町14-25

〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7

http://www.tomodata.co.jp / info@tomodata.co.jp



品名	数量	単位	単価	金額	備
1 防水工事					
2 防水工事					
3 防水工事					
4 防水工事					
5 防水工事					
6 防水工事					
7 防水工事					
8 防水工事					
9 防水工事					
10 防水工事					
11 防水工事					
12 防水工事					
13 防水工事					
14 防水工事					
15 防水工事					
16 防水工事					
17 防水工事					
18 防水工事					
19 防水工事					
20 防水工事					

品名	数量	単位	単価	金額	備
1 防水工事	18.45	.50		2 18.450	
2 防水工事	13.45	.50		2 13.450	

品名	数量	単位	単価	金額	備
1 防水工事	18.45	.50		2 18.450	
2 防水工事	13.45	.50		2 13.450	

建築積算協会の標準内部仕上計算書に準じたデザイン

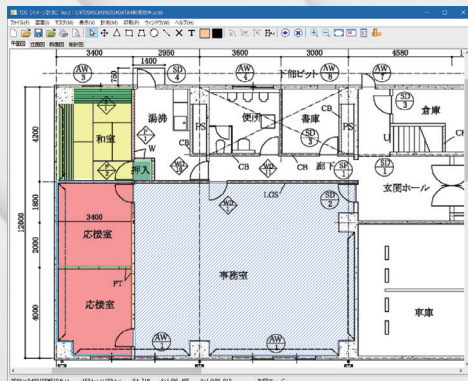
「仕上」

品名	数量	単位	単価	金額	備
1 防水工事	18.45	.50		2 18.450	
2 防水工事	13.45	.50		2 13.450	

品名	数量	単位	単価	金額	備
1 防水工事	18.45	.50		2 18.450	
2 防水工事	13.45	.50		2 13.450	

「イメージ計測」Ver.2

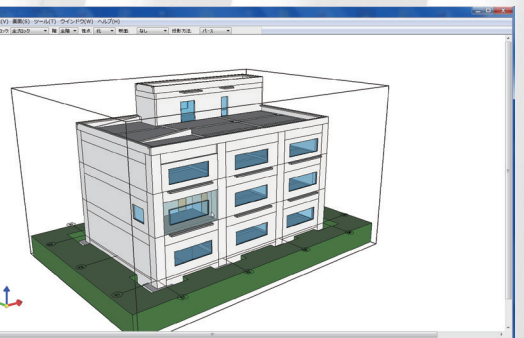
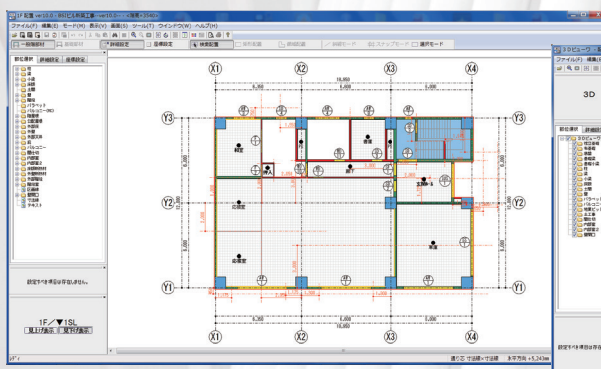
面積計算必要なして図面計測の効率化 UP!



品名	数量	単位	単価	金額	備
1 防水工事	18.45	.50		2 18.450	
2 防水工事	13.45	.50		2 13.450	

配置入力No.1!

NCS/HELIOS



※NCS/HELIOS は(株)日積サーベイズ社の商品です。

目次 Contents

2	暑中ご挨拶	公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部 広報委員会 委員長 三谷 智
3	暑中ご挨拶	大阪府都市整備部住宅建築局 公共建築室長 浅尾 宏
4	日本建築積算協会関西支部 設立50周年記念式典報告	
5	50周年委員コメント	
6・7	認定校 設計積算コンペ 審査結果発表	
8	関西支部 50周年記念事業 協賛企業リスト	
9	2025年度 関西支部定時総会報告	
10・11	2025年度 新役員あいさつ（西村 佳吾、河村 晋吾、北野 惣子）	
12・13	若手トーク オンとオフ（溝上亜寿美、藤野 空哉、石田早希絵）	
14	合格者の声 建築積算士合格者	株式会社エステム建築事務所 武藤 佑果
	建築コスト管理士合格者	清水建設株式会社 関西支店 田中 龍介
15	「平城宮跡第一次大極殿院東楼復原整備工事」見学会	積女 ASSAL かんさい 寺浦 加津
16	2025年度「建築積算士」並びに「建築コスト管理士」試験のご案内	
17	2025年度「建築積算士」並びに「建築コスト管理士」資格更新のご案内	
18	CPD 注意喚起	
19	地域だより（和歌山県）	和歌山県 和歌山県 農林水産部 森林林業局 林業振興課 主任 山本 将功
20	地域だより（兵庫県）	神戸市 建築住宅局 部長（建築担当） 山根 正利
21	地域だより（京都府）	京都市 都市計画局 公共建築部 公共建築企画課 課長 田村 郁夫
22	地域だより（奈良県）	奈良県 環境森林部 県産材利用推進課 課長 染川 知之
23	地位だより（滋賀県）	大津市 建設部 建築課長 岡田 大斉
24	第82回積友会ゴルフコンペのご報告	
25	賛助会員名簿	

協賛広告

事務局だより・編集後記

誌名「HILAU」について

「拾う」という言葉を国語辞典で引いてみると、「落ちていたものを取り上げて手にする」という意味のほかにも様々な意味があるが、そのうちの一つに「**多くの中から必要なものを選び取る**」という意味がある。我々が積算することを日常的に「数量を拾う」と表現するのはここからきているのかもしれない。

今、世の中はこれまでにないスピードで変化を続けている。その環境変化のスピードに必死についていくために、「**新たな情報**」を**拾う**ことに目を奪われがちだが、そのような環境だからこそ、「**人とのつながり**」を**拾う**ことも重要だと思う。

そこで関西支部ニュースを新たに「**HILAU**」（ひらう）と誌名を変更した。

協会の皆様がここから少しでも有益な何かを「**ひらって**」いただけるような支部報にしていきたい。 ※「**HIRAU**」では？ 雰囲気ではひらっていただきたい。

■ 暑中ご挨拶



公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部

広報委員会 委員長 三谷 智

暑さ厳しき折、皆さまいかがお過ごしでしょうか。いつも日本建築積算協会関西支部の活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今期は役員改選もあり、新たな広報委員会として、新鮮な気持ちで『HILAU 92号』を発刊することができました。

今年は大阪・関西万博が開催され、既に期間の半分を過ぎていますが、皆様はもう行かれたでしょうか。当の私は、執筆時点では行けておらず、暑さが本格化する前に行ければと思っています。これから行く予定の方は、暑さ対策を十分におこなって楽しんで下さい。

さて、これまでもお伝えしていましたが、おかげ様で当協会は2025年に設立50周年を迎え、これまでの様々なイベントの集大成として去る2025年5月28日に設立50周年記念式典をとり行いました。当協会に関わる多くの方のご協力をいただき、手前味噌ではありますが、大成功だったと感じております。ご参加いただいた方には改めてお礼申し上げます。また、参加できなかった皆さまにおかれましては、開催報告が本誌に掲載されていますのでご一読いただき、盛況ぶりを感じていただけますと幸いです。

また、お祝いムードを感じながらも『次の50年

への第一歩を踏み出す』活動も各委員会で準備を進めております。

会員委員会では多数見学会を開催しておりますし、事業講習委員会ではWEB講習会を配信期間中に何度でも見返せるようなサービスを始めました。教育委員会では昨年から認定校での積算実務体験会を始め、学生たちに積算の認知を広める活動を行っています。我々、広報委員会も本誌『HILAU』を通じて、各委員会の活動をお伝えすると共に、関西の積算業界の今をお伝えできるコンテンツになれるよう企画・運営をしていきたいと思っております。機会があり、執筆やイベント参加等をご依頼させていただいた際には、ぜひともご協力いただけますよう心からお願い申し上げます。

また、見学会・講習会の開催案内等は、『HILAU』でのご案内に加え、ホームページ・DMにて情報を発信していますので、たまにチェックして下さると嬉しく思います。

最後になりますが、まだまだ暑い日が続いていることと思います。皆さまどうかご自愛のうえ、健やかにお過ごしください。今後とも、当協会並びに『HILAU』をご愛顧下さいますようお願い申し上げます。



■ 暑中ご挨拶



大阪府都市整備部住宅建築局

公共建築室長 浅尾 宏

暑中お見舞い申し上げます。

日頃より大阪府の公共建築行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年4月13日から10月13日の184日間にわたり開催している2025年大阪・関西万博では、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献を目指し、世界中の国や地域が参加しております。国連が掲げるSDGs達成の目標年である2030年まで残り5年となる2025年は、実現に向けた取組みを加速するのに極めて重要な年であり、大阪府は、国や経済界等と一体となり、世界の課題解決に向けて「SDGs先進都市」の取組みを進めてまいります。

建築業界では、建築物省エネ法改正により、今年度から原則全ての新築住宅・非住宅に省エネ基準適合が義務化されるなど、二酸化炭素排出量の削減が重要な課題となっております。また、建築物ライフサイクルアセスメントの実施を促す制度の開始が目指されており、建築生産者や建材製造等事業者の脱炭素化の取組みを導く好循環が生み出される社会の実現が図られています。

大阪府においても、新築に着手する府有建築物のZEB化、府営住宅のZEH化に取り組むとともに、昨年度からは、府営住宅の建替え事業等によ

り創出された活用用地の処分にあって、住宅を建築する場合は、原則ZEH水準以上とすることを条件とする等、民間建築物の省エネ化促進にも取り組んでおります。引き続き、府域の2050年二酸化炭素排出量ゼロを目標に、長期的かつ世界的な視野のもと、持続可能な経済成長と地球温暖化対策の推進を図ってまいります。

また、大阪府において「公共工事の品質確保とその担い手の中長期的な育成・確保」を目的に実施している「週休2日促進工事」については、4月1日以降に契約する工事を対象に、土曜日・日曜日の現場閉所を原則としました。建設業界における若手技術者の離職対策や新卒者が入職しやすい職場環境づくりを支援する取組みを続けてまいります。

建設業がこれまで以上に魅力ある産業となり、将来の担い手確保につなげていくために、公共建築工事の発注者としてもさらなる取組みを行ってまいりますので、会員の皆様方におかれましても、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、貴協会並びに会員の皆様方の今後益々のご発展とご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

日本建築積算協会関西支部 設立50周年記念式典報告

一般社団法人日本建築積算協会関西支部は、2025年に設立50周年を迎えました。この節目の年を記念し、去る2025年5月28日にホテルプリムローズ大阪にて164名の方にご参加いただき「設立50周年記念式典」を開催いたしました。

第一部の講演会では、大阪府・大阪市の特別顧問である橋爪紳也先生にご登壇いただき、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、1970年の大阪万博、2025年の大阪・関西万博について、また関西の将来像についてをお話いただきました。

第二部の懇親会では、本部副会長 生島様のご発声のもと鏡開きが行われ、短い時間ではありましたが会員の皆様の交流の場になりました。また、記念事業第4弾である設計積算コンペの受賞者、建築コスト管理士・建築積算士の新規合格者をお招きし、若い方々に関西支部の活動内容や活動状況を知っていただく機会となりました。



渡邊支部長



橋爪紳也先生



50周年記念式典鏡開きの様子



設計積算コンペ表彰の様子



50周年事業委員会

50周年委員コメント

渡邊支部長

今年、日本建築積算協会関西支部は設立50周年を迎えました。これも長年にわたり協会活動を支え、ご支援くださった会員の皆様のおかげであり、心より感謝いたします。

既にHILAUでもご報告の通り、50周年記念事業として、ロゴマークの制定や、ボウリング大会、USJでのパーティーを開催し、多くの会員の皆様と楽しい思い出を築くことができました。

また、認定校の学生を対象とした設計積算コンペでは、次世代の活躍を間近でご覧いただく機会となり、これからの未来につながる大きな希望を感じることができました。

5月の記念式典では、160名超の参加者の中、橋爪紳也先生の講演を皮切りに3時間に及ぶイベントとなり盛会裡に終えることができました。ご出席いただいた皆様には改めて御礼申し上げます。

関西支部は次の50年に向けて新たにスタートし、これからも皆様と共にさらなる発展を目指していきます。引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

2022年より、関西支部設立50周年記念式典を開催運営するための委員会を立上げ、8月30日に第1回委員会が開催されました。

それから年に数回委員会が開催され、プレイベントをどうするか等々色々な意見を出し、検討を重ねてきました。

すごかった企画は、あるキャラクターとのコラボで1,200万円／年という費用が…相手先様は「不祥事が無いタレント」と呼んでおられました。(笑)

又、その企画も含め開催出来なかったイベント等も色々ありましたが、ロゴデザインコンペ、ボウリング大会、USJパーティー、設計積算コンペ等大変盛り上がり開催出来たのも、協賛し応援していただいた各企業様のおかげだと思っています。

これからも公益社団法人日本建築積算協会 関西支部の活動等にご協力の程よろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。(徳原委員)

普段の業務では経験できないことがたくさんあり、苦勞もありましたが、とても良い経験になりました。

各イベント共に皆様のご協力のおかげで楽しく終えることができました。ありがとうございました。(三谷委員)

50周年事業委員として、参加当初から50周年記念式典まで長く短い間でしたが、協会活動に参加して出合いを重ねて行く事で本当に様々な知識と経験を得ることができました。

各イベントに参加して頂いた協会員の皆様、そして事業委員の皆様本当にありがとうございました。(新委員)

50周年記念式典では、途中参加ながらロゴや設計積算コンペの啓蒙活動、式典準備などを陰ながらお手伝いし、段取りや運営の大変さを学ぶ貴重な経験となりました。

(土坂委員)

重松委員長

このたびは、関西支部50周年事業に際し、多大なるご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

皆様の温かいご支援のおかげで、50周年を迎えることができましたことを、心より感謝申し上げます。

また、約60社の企業・団体・個人の皆様にご賛同いただき多くのご支援を賜りました事も重ねて感謝申し上げます。

50周年事業委員会は関西支部の副支部長を中心に外部委員を含む特別委員会として発足しました。

2022年8月30日が委員会として第1回目の打合せでしたので約3年間、企画の検討を中心に試行錯誤しながらひとつずつ確実に実行してまいりました。

第1弾として「50周年記念ロゴマーク公募」、第2弾は「ボウリング大会」、第3弾は「ユニバーサル・パーティー・ザ・ショータイム」、第4弾は「認定校設計積算コンペ」と4つの企画を開催いたしました。ロゴマークは会員全体からの公募、ボウリング大会は会員所属の企業対抗、USJパーティーは会員の家族・友人の同伴、設計積算コンペは認定校の学生コンペとし、協会を構成する全ステークホルダーをカバーした企画が出来たと思っております。特にUSJパーティーでは参加者総数が185名にも及び全世代からの参加となり、参加者全員でのパラパラは大変楽しく良い思い出となりました。

改めて、このたびの50周年事業に際し、ご支援をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

主として担当したのは設計積算コンペ。学生さん楽しんでもらおうと、あまり制限を設けず自由度を高めたところ、認定校の先生方には「逆に難しい」と言われ反省しました。それでも素晴らしい作品が集まり、表彰式まで無事に終えることが出来ました。ご参加いただき本当に有難う御座いました。(東委員)

50周年事業が無事完走でき、嬉しく思います。特にロゴマークと記念式典は、通常の業務では味わえない貴重な経験となりました。大変なこともありましたが、今では良い思い出です。本当にありがとうございました。(大中委員)

50周年記念事業委員として、参加当初から50周年記念式典まで長く短い間でしたが、協会活動に参加して出合いを重ねて行く事で本当に様々な知識と経験を得ることができました。

各イベントに参加して頂いた協会員の皆様、そして事業委員の皆様本当にありがとうございました。(岩尾委員)

50周年記念ボウリング大会を担当させて頂きました。無事に終わり安心してます。

本大会の開催にあたり、多大なるご尽力を頂いた河原役員、久保田プロ、そしてご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。(小柳委員)

〈公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部 50周年記念事業 第4弾〉



認定校 設計積算コンペ 審査結果発表

課題 「関西支部の活動拠点となる事務所ビル」

総 評

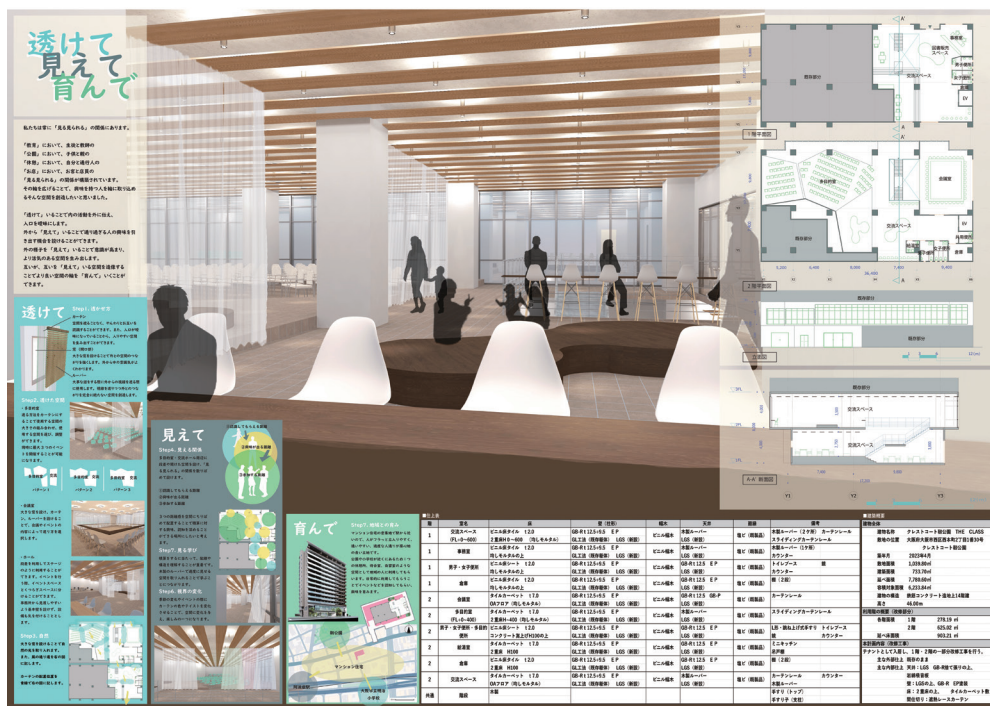
日本建築積算協会として初めての学生対象の建築設計コンペでしたが、それぞれ特徴のある意欲的な作品の応募があり、審査会では様々な視点から議論されました。計画的に非常によく検討されている点、スケールの大きな提案が見られた点、図面やパースの表現が高く評価された点、コスト削減にも着目している点などが議論の種となり、また、本協会特有のコンペとして数量積算が求められた点についても一つの評価軸となり議論されました。「今後も同様の設計コンペを続けては」との意見もあり、今回はコンペ要綱をまとめる際には自由度の高い課題を意識しましたが、もう少し条件の設定などで絞ってもよいのではないかといった意見もありました。今回のコンペに応募していただいた学生ならびにご指導いただいた先生方に深く感謝いたします。

近畿大学建築学部教授 阿波野昌幸

【最優秀賞】

近畿職業能力開発大学校 建築施工システム技術科 一色 果乃さん

作品名 「透けて 見えて 育んで」



講 評

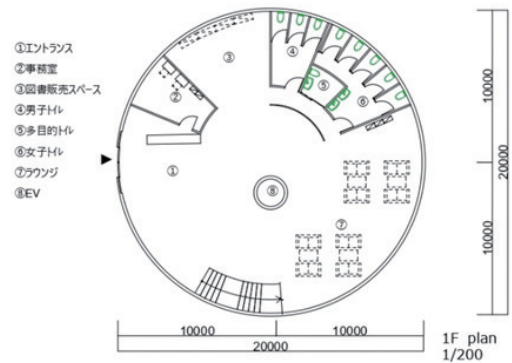
敷地・規模想定に着眼点として、既存マンションのコンバージョン計画にしたことは、スマートでわかりやすい。設計コンセプトが明快で、うまく空間に落とし込まれている。他の案に対し、唯一2層で施設レイアウトしている点、不特定多数の利用を考慮した現実的なプランとなった。また、核となる交流スペースを吹抜まわりの1、2階に配置し、既存の躯体をうまく活用した構成になっている。1階の事務室は受付スペースも兼用しているので、配置のスペースバランスもよく、全体的に納まりの良いプランになった。今後の実社会での活躍が期待される。

株式会社竹中工務店 大阪本店 設計部専門役 杉村修一

【優秀賞】

修成建設専門学校 専科2級建築士科 チーム西原・島本
(西原 尽思さん、島本 佳哉さん)

作品名 「円縁 ～循環する学びと交流の場～」



講評

積算協会の事務所ビルというお題で、敷地や規模などが自由に設定できるコンペであったため、様々なユニークな提案が見られた。本案は、「円縁 循環する学びと交流の場」というコンセプト設定、大きな吹抜けのホールに貫入した造形力や表現力、環境への答えなど、非常に秀逸な提案である。

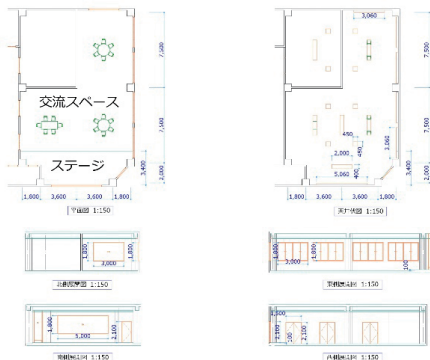
株式会社東畑建築事務所 設計室部長 平野尉仁

【数量積算特別賞】

広島工業大学 工学部 建築工学科 チーム太平洋から日本海
(小池 海翔さん、藤原 大誠さん、松田 泰河さん)

作品名 「平和を繋ぐ建物、会話を増やすいつまでも」

数量積算用図面



交流スペース		仕 上 料 算		天 井		開		その 他
仕 上	材 質	計 算	仕 上	材 質	計 算	仕 上	材 質	
天井	FRP	11.25	天井	FRP	11.25	天井	FRP	11.25
壁	FRP	17.43	壁	FRP	17.43	壁	FRP	17.43
床	FRP	0.16	床	FRP	0.16	床	FRP	0.16
柱	FRP	11.25	柱	FRP	11.25	柱	FRP	11.25
梁	FRP	11.25	梁	FRP	11.25	梁	FRP	11.25
階段	FRP	11.25	階段	FRP	11.25	階段	FRP	11.25
エレベーター	FRP	11.25	エレベーター	FRP	11.25	エレベーター	FRP	11.25
トイレ	FRP	11.25	トイレ	FRP	11.25	トイレ	FRP	11.25
ラウンジ	FRP	11.25	ラウンジ	FRP	11.25	ラウンジ	FRP	11.25
図書販売スペース	FRP	11.25	図書販売スペース	FRP	11.25	図書販売スペース	FRP	11.25
エントランス	FRP	11.25	エントランス	FRP	11.25	エントランス	FRP	11.25
事務室	FRP	11.25	事務室	FRP	11.25	事務室	FRP	11.25
多目的ホール	FRP	11.25	多目的ホール	FRP	11.25	多目的ホール	FRP	11.25
男子トイレ	FRP	11.25	男子トイレ	FRP	11.25	男子トイレ	FRP	11.25
女子トイレ	FRP	11.25	女子トイレ	FRP	11.25	女子トイレ	FRP	11.25
ラウンジ	FRP	11.25	ラウンジ	FRP	11.25	ラウンジ	FRP	11.25
EV	FRP	11.25	EV	FRP	11.25	EV	FRP	11.25

講評

交流スペースの内部仕上の数量積算が求められた特徴的なコンペである。提出された数量計算書は、認定校として学んだ建築数量積算基準をよく理解していることがうかがえ、開口等の欠除対象とする項目もわかりやすく表現されており、第三者が見ても理解しやすく整理された数量計算書はとても印象的であった。

株式会社東畑建築事務所 代表取締役 東 泰紀

関西支部 50周年記念事業 協賛企業リスト

(株)アイ積算	高田機工(株)
(株)浅川組	(株)竹中工務店
(株)安藤・間	(株)タスト
大芝建材(株)	谷地建設(株)
(株)大林組	(株)TACT
(株)オクジュ	寺岡オート・ドアシステム(株)
鹿島建設(株)関西支社	転職設計事務所
(一財)経済調査会	(株)DOISEKI
(有)元積算	(株)東畑建築事務所
(株)建研	東洋建設(株)
(一財)建設物価調査会	(株)内藤建築事務所
(株)鴻池組	西松建設(株)西日本支社
高成産業(株)	西村工業(株)
小松ウォール工業(株)	(株)日建設計
(株)コムラ	日新工業(株)
五洋建設株式会社	(株)日積コストプラン
三晃金属工業(株)	(株)日積サーベイ
三友工業(株)	(株)パラキャップ社
ジャスト建築積算(株)	(株)バル・システム
ジャパンパイル(株)	(株)東建築積算士事務所
(株)スクエア積算ラボ	(株)フジ設計
鈴木二郎	フジクリーン工業(株)
角田兼一	(株)フジタ
(有)積建築工務	文化シャッター株式会社
積水ハウス(株)	丸五基礎工業(株)
(株)綜企画設計	(株)安井建築設計事務所
(株)総合積算	(株)山本建築設計事務所
(株)大建設計	(株)LIXIL
(株)大成出版社	YKKAP(株)
太陽工業(株)	(一社)和歌山県建築士事務所協会
高積算(株)	

2025年度 関西支部定時総会報告

公益社団法人 日本建築積算協会
関西支部 2025年度 定期総会



日 時：2025年4月24日

場 所：大阪府建築健保会館6ホール

出席者：46人、委任状297人、合計343人

議決権：637名

2025年度関西支部定時総会が、4月24日(木)大阪府建築健保会館で開催された。
審議の結果、議案は全て承認された。



第1号議案 2024年度事業報告承認の件

第2号議案 2024年度決算報告承認の件

第3号議案 2025・2026年度役員選任の件

報告事項1 2025年度事業計画の件

報告事項2 2025年度収支予算の件

2025年度関西支部事業活動方針

「会員の皆さんと共に50周年を祝い次の50年への第一歩を踏み出す」

50周年を迎えるにあたり今までの歴史を振り返ってみると支部創設期に我々の先輩方が当時まだ積算士という資格も無い中、認知度や地位、支部のステータスを向上させることに大変尽力され、役員になる方々についても創設メンバーが自ら声がけをするというような苦勞されてきたことを知ることができました。今の関西支部が活発に活動することができているのもこのような先輩方の強い思いがあってこそで、今後もこの思いをしっかりと受け継いでいきたいと考えています。

これまでの50年を振り返ると建築積算技術者の業務についてその方法や使用するツールも変化・進化を遂げています。次の50年建築積算の業務はもっと多種多様なものとなり私たち一人ひとりがその変化に柔軟に対応できることが求められると思います。既に始まっているBIMデータとの連携はより深度化され、そして今後はAI技術を取り入れた数量算出という方向により進化していくと予想されます。また建築資機材の数量算出だけでなく2050年のカーボンニュートラルに向けた建設業界の取り組みに対して今までの算出技術を活かした温室効果ガス排出量計算への対応などそのフィールドも広がることでしょう。建築工事に係る数量やコストの算出に留まらずこれからは様々な場面で発注者・注文者に寄り添う建築積算技術者へと変わっていくことと思います。私ども積算協会関西支部ではそのような社会に必要とされる技術者の創出と育成のために様々な機会を準備ししっかりとサポートしてまいります。併せてこれは積年の課題ではありますが若い世代の会員の増強、ジェンダーフリーな組織を目指し、そういった方々にも興味を持ってもらえるような講習会・見学会などのプログラムの充実を図っていきます。また我々の活動をしっかりと伝えるべく広報活動にも力を入れてまいります。

今年は次の50年を目指すスタートの年と位置付け、役員・監事一丸となり頑張ってまいりますのでご協力ご支援の程、よろしくお願いいたします。

2025年度 新役員あいさつ

西村 佳吾

1983年愛知県名古屋市生まれ／清水建設株式会社 関西支店 見積部 主査



このたび、関西支部役員を務めさせていただくことになりました。私は、2007年入社で現場管理10年、見積業務8年で現在も見積業務に従事しています。先日、日本建築積算協会 関西支部 設立50周年記念式典に参加させていただきありがとうございました。50年という年月の中で建築積算を取り巻く環境は大きく変化してきました。とのお話がありましたが、今後もより一層取り巻く環境は大きく変化し、建築積算・プロジェクト上流でのコスト管理は重要になってくると感じております。この大きな時代の変化に対応できるように私自身協会に参加することで幅広い分野の知識・知見を深めさせてもらいながら協会活動に貢献させていただきたいと考えております。微力ではありますが、協会並びに会員の皆様のお役に立てるよう努めたいと思いますので何卒宜しくお願い致します。

河村 晋吾

1978年大阪府生まれ／株式会社日建設計 コストマネジメントグループ 部長



このたび、関西支部役員を務めさせていただく事となりました。

私は設計事務所においてコスト関連業務に関わり、早11年が経過いたしました。この間、さまざまなプロジェクトに携わる中でコストマネジメント・積算について、多くの方々に出会い、様々な経験をさせていただきました。その中でも特に近年は、建設物価の高騰が続き、コストマネジメント業務およびそれを支える積算業務に対する期待および役割がますます大きくなっていると感じています。

このような状況の中で、積算協会の一員として、積算業務の重要性を広め、皆様と共に知識や技術の向上を図りたいと考えております。微力ながらも協会の活動に貢献できるよう努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



2025年度 新役員あいさつ

北野 惣子

1986年大阪府生まれ／株式会社エステム建築事務所 リクルーティング事業部コンサルタント



この度は、関西支部役員を務めさせていただくこととなりました北野惣子と申します。

建築業界に特化した転職支援事業部の立上げ期にエステム建築事務所に転職をしてまいりました。

約8年間の建設業界における転職市況の変遷を見ている中で、近年はより積算・コスト技術者の採用を重要視する企業が増えてきたように感じます。資材、建設費高騰の影響により、設計事務所やゼネコンのみならず発注者サイドでの積算・コスト管理人材の需要も増加しています。

一方で過熱する求人に対して積算技術者の人数は比例しておらず、人材不足は業界全体にとって深刻な問題になってきているように感じています。

技術者ではない私が出来ることとして、積算協会の活動を通して、改めて積算の重要性や魅力等について発信できるような役割を担えればと考えております。

微力ではございますが、協会並びに会員の皆様のお役に立てるよう尽力いたしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

若手 トーク

オンとオフ



株式会社スクエア積算ラボ

溝上 亜寿美(みそがみ あずみ)

(株)スクエア積算ラボに入社して、今年で丸3年になります。

美容業界からまったく異なる分野への大幅な転職で、「右も左もわからない」どころか、今どちらが“右”なのかすらわからない状態でのスタートでした。

毎日わからないことだらけではありますが、その分、日々新たな発見があり、できることが一つひとつ確実に増えていく実感があり、楽しく業務に取り組んでいます。

オフの日に、パワースポットを巡ることにハマっています。

自然豊かな場所に足を運び、心のデトックスを目的に訪れることが多いです。

最近では、奈良県の山奥にある「玉木神社」へ行ってきました。

「呼ばれた人しかたどり着けない」と言われるほど道中の山道は険しい道でしたが、山頂からの絶景と神秘的な佇まいに心が浄化されるような気持ちになりました。

仕事でもプライベートでも、しっかりとパワーを吸収し、これからも全力で充実した毎日を過ごしていきたいと思います。





高積算株式会社

藤野 空哉(ふじの たかや)

建築積算の仕事は、図面と数字をもとに正確なコストを算出する責任のある業務です。若手として日々奮闘する中で、私はオンとオフの切り替えの大切さを実感しています。「オン」の時間は、集中力がすべて。小さなミスが大きな損失につながる為、常に緊張感を持って業務に向き合っています。一方で、その緊張感が続くと心と体も疲弊してしまいます。だからこそ、意識的に「オフ」を取ることが欠かせません。私にとっての「オフ」は、好きな音楽を聴きながら散歩したり、フットサルで体を動かしたりすることです。こうした小さな息抜きが、翌日の業務への活力になります。積算の仕事は地道で目立ちにくいですが、建築を支える重要な役割です。これからもオンとオフのバランスを大切にしながら、経験を積み、信頼される積算技術者を目指していきたいと思っています。



株式会社大建設計

石田 早希絵(いしだ さきえ)

積算業務をはじめ早一年が経過しました。学校では積算の授業がなかったため、全てが初めての連続でした。特記仕様書や標準仕様書などの言葉は学校で学びましたが、業務における重要性は仕事をしていく中で気づくものが多くありました。

今は初めて金入れを行っていますが、刊行物から単価を探しただけでも一苦労です。それに加えて代価・歩掛りと材工単価を作ることはさらに難しい作業です。大変な毎日ですが新しい事を学べている楽しさを感じています。

またプライベートにおいては友人との旅行が至福の時間となっています。写真は沖縄にいった際の美ら海水族館の大水槽です。また若手社員の仲がよくみんなと遊びに行くことが楽しみになっています。冬はスノボにいたり、最近では奈良の神社へいき温泉にはいたり癒しの休日を過ごしています。これからもお休みのために仕事を頑張り、仕事のためにプライベートも充実させていきたいと思っています。



合格者の声



●建築積算士合格者

株式会社エステム建築事務所

武藤 佑果

就職活動の中で、建物が建つ過程に興味があり、大学で学んだ建築の知識を生かせる仕事を探しておりました。その際に、教授から積算職を勧めていただいたのがきっかけで、積算を知りました。積算は建物を建てる過程の中で早い段階から幅広い建物に携われ、広く知識を身につけることができることに興味をもち、今の仕事を選びました。業務に入り、図面から数量を算出するだけでなく、どの順番で工事が進められどの工種に分類されるのか、作業工程を考える重要さと楽しさを実感しております。

積算士を受験する上で、二次試験に苦戦しました。実技試験は過去問をとにかく解いて、出題パターンを理解する、記述問題は建築積算士ガイドブックを読み、自分なりに説明できるまで時間をかけることが合格につながるのではと思います。私は本番終了10分前に計算ミスに気づき、終了間際まで回答を修正していたため、最後まで確認することも重要だと思います。

今年で積算の仕事に就いて3年目になります。一人で内訳まで任せていただくことが増えたり、規模の大きい物件を担当することが増えました。まだまだ未熟な部分もありますが、業務を通して知識が増えていくことを楽しみながら、今後も努力していきたいと思っています。



●建築コスト管理士合格者

清水建設株式会社 関西支店

田中 龍介

私はかつて積算事務所に15年間在籍していましたが、建築積算士の資格のみで業務にあたっていました。図面から数量を拾い、内訳書を作成し、予算取りの為に値入れを行うだけのルーティン化された日々には、それで十分と考えていたためです。

しかし転職を機にコスト管理士を目指し学びを重ねていくうちに、もっと早く取り組んでおけばよかったと反省するようになりました。新しい視点で業務に向き合ってみると、これまで「作業」として捉えていた積算の背後にも、発注者・設計者・施工者それぞれの意図や立場があることに気づかされたのです。視野が広がったことで業務への理解も深まり、自らの考えを持って関わる意識が芽生えたことを実感しました。

近年は建設資材や人件費の高騰に加え、LCCやBIMを活用したCMの重要性も一層高まっており、建築とコストの関係は益々密接になってきたと感じます。これからは単に数字を扱うだけでなく、建築全体の目的や価値を見据えた上で、最適な提案ができる専門性がより強く求められていくでしょう。私自身もコスト管理士としてその一端を担えるよう、研鑽を重ね、実務を通じてよりよい建築づくりと社会への貢献を目指したいと思っています。



「平城宮跡第一次大極殿院東楼復原整備工事」見学会

公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部

積女ASSAL かんさい 寺浦 加津



令和7年1月23日(木)、国土交通省近畿地方整備局が主催されている「平城宮跡第一次大極殿院東楼復原整備工事」の見学会に参加させて頂きました。参加者はご新規の方を含め25名、天候は、前週の寒い日とは違って変わり温かく快晴の見学会日和でした。近鉄奈良線大和西大寺駅から町中を20分程度歩くと一変して平城宮跡のゆったりした空間の中で復原工事が行われていました。

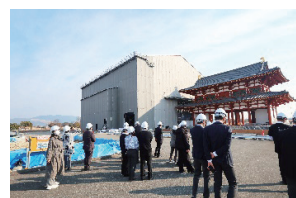
まず、手前の復原事業情報館に展示されている古代建築に使われた道具類を見せて頂き、現場事務所で事業と工事の概要のご説明をして頂きました。



その後、加工場では実際、宮大工さんたちが作業されている現場で、図面や屋根の模型、瓦のサンプルなどを手に取って、手斧（ちょうな）、ヤリガンナなど伝統道具類をどの様に使うかの説明を受け、復原工事はまさに伝統技能の継承だと感じました。木材は、乾燥による割れがあっても中の組織が密に絡まっているので構造的に問題ないと聞き驚きました。



工事は天候に左右されず安全に効率よく進める環境を確保するため素屋根が掛けられ、内部に足場を組んで作業が進められていました。この素屋根は南門復原工事に使用していたもので、水平ジャッキを用いて約1ヶ月半かけて東へ移動させ、その後は西楼復原工事に使われるそうです。



東楼の外周の柱は通柱となっており約12mと、とても長く清水の舞台とほぼ同じ高さで復原建造物では最大級の長さとの事です。木材は主に紀伊山地で調達し、樹齢200年以上の吉野檜をはじめ最高品質の木材が使われています。



奈良時代の建物なので、現代の建築基準法では安全性確保のため補強が必要で、原型の意匠を損なわないよう最小限で、取外すことが出来るよう考えられており、復原材とは区別できるよう黒い鉄骨フレームを入れていました。ご説明頂いた近畿地方整備局の上田室長も仰っていましたが、復原工事はまさに伝統技能の継承ではありますが、どのように

復原するかその難しさを感じました。

今まで復原工事の積算の経験はないですが、実際の現場を見せて頂き、基礎工事、木工事、瓦、金物、左官、塗装に至る作業の、一つ一つに思いを込められた伝統建築の味わい深さを知り、とても興味深かったです。今回お世話になりました近畿地方整備局京都営繕事務所上田室長をはじめ、竹中工務店の作業所の皆様ありがとうございました。



2025年度「建築積算士」並びに「建築コスト管理士」試験のご案内

認定事業委員会

2025年度「建築積算士」並びに「建築コスト管理士」試験について、次の通りお知らせ致します。

2025年度「建築積算士」試験のご案内

制度の定義	建築生産過程における工事費の算定、並びにこれに付帯する業務に関し、高度な専門知識および技術を有する専門家。
資格取得のメリット	PUBDIS (公共建築設計者情報システム) 登録資格として、公共工事における建設コンサルタント等業務参加資格に活用できます。建築積算のスペシャリストとして認められている資格です。
■申込期間	【一次試験から受験】2025年6月2日(月)～9月1日(月) 【二次試験から受験】2025年10月1日(水)～12月5日(金)
■試験日	【一次(学科)試験】2025年10月26日(日) 【二次(実技)試験】2026年1月25日(日)
■試験会場	大阪会場は一次試験が「大阪府建築健保会館」で実施の予定です。 なお二次試験の会場は未定です。 ※都合により会場を変更する場合がございます。
■受験資格	次のいずれかに該当する方は、一次試験が免除になります。 ①建築コスト管理士、建築積算士補 ②一級建築士、二級建築士、木造建築士 ③一級・二級建築施工管理技士 ④積算協会の積算学校卒業生 ⑤過去の一次試験合格者
■受験料	27,500円(消費税込) ※建築積算士補の方、学生会員の方は受験料が半額(13,750円)になります。

2025年度「建築コスト管理士」試験のご案内

制度の定義	企画・構想から維持・保全、廃棄に至るライフサイクル全般に渡って、コストマネジメント業務に関する高度な専門知識および技術を有する専門家。
資格取得のメリット	PUBDIS (公共建築設計者情報システム) 登録資格として、プロポーザル等に活用できます。英国王立チャータード・サバイヤーズ協会(RICS)の国際的QS称号取得が可能な資格です。
■申込期間	2025年6月2日(月)～9月5日(金) 協会ホームページに掲載する申込フォームに入力し、送信してください。
■試験日	2025年10月26日(日) / 学科試験 12:50～15:20(2時間30分) / 短文記述試験 15:40～17:40(2時間)
■試験会場	大阪会場は「大阪府建築健保会館」で実施の予定です。 ※都合により会場を変更する場合がございます。
■受験資格	1) 建築積算士資格を取得後、更新登録を1回以上行った方。 2) 建築関連業務を5年以上経験した方。 3) 一級建築士に合格し登録した方。
■受験料	29,700円(消費税込)
■特記事項	過去2カ年度学科試験に合格され、短文試験のみの受験の場合の手数料は、16,500円(消費税込)となります。



2025年度「建築積算士」並びに「建築コスト管理士」資格更新のご案内

認定事業委員会

2025年度で登録期限が終了する「建築積算士」並びに「建築コスト管理士」の皆様にご案内致します。

2025年度「建築積算士」資格更新のご案内

建築積算士の皆様、平素より当協会にご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、3年ごとに行われる資格更新のご案内です。

以下の内容をご確認いただき、手続きを行っていただきますようお願い申し上げます。

1. 2025年度の更新講習および更新の登録（再登録）の対象者は、以下のとおりです。

- (1) 2022年度に更新講習を修了した方（登録有効期限：2026年3月31日）
- (2) 2022年度は都合により更新講習を修了せず、2023年度に更新講習を修了した方（登録有効期限：2026年3月31日）
- (3) 2022年度建築積算士試験に合格して登録を受け、建築積算士となった方（登録有効期限：2026年3月31日）
- (4) 昨年度更新講習の対象者で、2024年度は都合により更新講習を修了しなかった方（登録有効期限：2025年3月31日）

2. 更新講習は以下の方法で行います。

(1) 【eラーニング受講】

基本的には、パソコンやスマートフォンあるいはタブレットを利用して、インターネット上で講習を受ける「eラーニング」で行います。

(2) 【DVD視聴受講】

インターネットを利用する環境にない方には、DVD（電子記憶媒体）を送付いたします。テレビとDVDプレイヤーにより視聴していただけます。

(3) 【どちらの手段もない】

パソコンやスマートフォンあるいはタブレットをお持ちでない方、インターネットを利用する環境にない方、テレビとDVDプレイヤーをお持ちでない方については、受講する手段を別に提供いたします。

2025年度「建築コスト管理士」資格更新のご案内

2025年度で登録期限が終了する「建築コスト管理士」の皆様は、2026年3月末までの5年間に、80単位以上のCPD単位取得が必要となります。

また、以下（1）～（3）のいずれかに該当する方は、履修単位の緩和の申請を行うことができます。

- (1) 傷病、産休などやむを得ない場合については、5年間で20単位を限度として緩和の申請を行うことができる。
- (2) 資格更新年度の3月末において、建築積算士（旧名称建築積算資格者）取得後20年を超える、建築及び関連業務の実務経験を有するものは、5年間で30単位の緩和の申請を行うことができる。
- (3) 資格更新年度の3月末において、一級建築士取得後25年を超える、建築及び関連業務の経験を有するものは、5年間で30単位の緩和の申請を行うことができる。

履修プログラムは、「参加学習型」「情報提供型」「技術協力型」「自己学習型」に分けられます。詳しくは積算協会本部ホームページをご確認ください。

CPDは日々の積み重ねが重要です。

まずはご自身の取得単位数の確認から始めていただければと存じます。

積算協会本部 CPD の
推進ページ



積算協会本部 CPD システムの
分類と単位



CPD

お忘れじゃないですか？

5年毎の建築コスト管理士資格の更新の際は、**CPD80単位が必要です。**

CPD単位の取得には、

- ・ 講習会や研修会等認定プログラムへの参加
- ・ 講師、論文発表等、技術や知識の提供
- ・ 会誌「建築と積算」のCPD認定記事による学習
- ・ 専門図書による自己学習

等、様々な方法が可能です。

一度ご自身の更新の**タイミング**や**CPD取得状況**をお確かめください。

詳しくは協会HPをご覧ください。

**技術も知識もCPDも
日々の積み重ねが重要です！**



地域だより



県外建築物木造木質化 支援事業について

和歌山県

和歌山県 農林水産部
森林林業局 林業振興課

主任 山本 将功

盛夏の候、公益社団法人日本建築積算協会関西支部の皆様におかれましては、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より和歌山県の林業、木材産業行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。この場をお借りしまして、改めてお礼申し上げます。

さて、和歌山県は古くから「紀州・木の国」と呼ばれ、優れた木材を生み出す林業地の一つとして知られております。現在は、県土の約76%を森林が占めており、毎年約30万m³の杉やヒノキなどが伐採され、「紀州材」として流通しています。特に、無垢の製材として利用した際の「紀州材」の強度、色合い、目合いの良さなどを評価いただき、主に住宅用の木材として重宝されてきました。

しかしながら、人口減少に伴う住宅着工戸数の減少などによって、将来的な木材需要の低迷が危惧されるところです。そこで、和歌山県では、継続的な紀州材の需要拡大を図るため、これまであまり木造化や木質化が選択されてこなかった公共建築物や民間商業施設など、住宅以外の建築物（非住宅建築物）の木造化や木質化を推進することを目的とした様々な取り組みを実施しています。その一つが、今回ご紹介します「県外建築物木造木質化支援事業」です。

その名のとおり、和歌山県外の地域において、不特定多数の方が利用する民間非住宅建築物に対し、紀州材を利用した木造化、木質化又は木製品整備

を行う際の紀州材の購入費の支援や設計業務の支援を行うもので、令和7年度から開始いたしました。事業概要は次の通りです。

補助対象者	(1) 和歌山県外に所有又は管理する民間非住宅建築物で、紀州材を利用した木造化、木質化又は木製品整備を行う方 (2) 和歌山県外に建築される紀州材を利用した民間非住宅建築物の木造設計を行う方
補助対象施設	和歌山県外に整備され不特定多数の方が利用可能で、年間10,000人以上の利用が見込まれる施設
補助率など	(1) 紀州材の購入に要する経費の1/2以内を補助（※構造材10m ³ 以上使用、又は内外装材や造り付け家具部材40m ² 以上使用等の要件有） (2) 紀州材を用いた木造建築物の実施設計に要する経費の定額補助（※延べ面積300m ² 以上等の要件有）

残念ながら、令和7年度の募集は終了しておりますが、令和8年度以降も本取り組みを継続したいと考えておりますので、皆様の積極的なご活用をお待ちしております。

最後になりましたが、皆様のさらなるご健勝とご活躍を紀州・木の国から心よりお祈り申し上げます。



地域委員会

和歌山県地域委員 藤田 貴司

今回は、県下の民間企業さまや団体さまと建築物木材利用促進協定を結んだり、民間非住宅建築物への木造木質化支援事業の取り組みのご紹介と、その制度を県外の非住宅建築物までお使いできるようにされた思いを林業振興課 山本主任さまに執筆していただきました。



地域だより



兵庫県

神戸市 建築住宅局

部長(建築担当) 山根 正利

日本建築積算協会関西支部の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃は神戸市の建築住宅行政に対しましてご理解ご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

現在、神戸市では「神戸都市ビジョン2035」に向けた新たな都市構想を策定しております。本ビジョンは、2026年からの10年間を見据え、都市機能の向上と持続可能な発展を目指すものです。

まちに目を向けますと、神戸空港の国際化、三宮再整備といった大規模プロジェクトが進行しており、公共建築物におきましても、大型新築案件や既存施設の適正な維持保全を担う営繕工事が市内各所で行われております。

これら都市基盤の整備を円滑に進めるため、神戸市では、従来の設計施工分離発注方式だけではなく多様な発注方式も活用しながら、より合理的で効果的な事業推進を図っています。

加えて、環境負荷を低減し、持続可能な都市づくりを支える施策として、ZEB化の推進に取り組んでいます。省エネ技術の活用や再生可能エネルギーの導入により、建築物のエネルギー消費を抑え、快適性と環境負荷低減を両立させることが目的です。また、木材利用の促進にも力を入れてお

ります。公共建築物への木材活用を進めることで、地域資源の活用と環境負荷の削減を実現し、建物やまちに木の温もりを取り込むとともに、脱炭素社会の実現に寄与することを目指しています。特に、木造建築技術の発展に伴い、耐久性・防火性を確保しながら木材を積極的に活用することで、都市空間の新たな可能性を開く取り組みを推進しています。

一方、建築積算分野におきましては、発注段階における違算発生を防ぐことは不可欠となります。この課題に対応する一つの取り組みとして、一昨年より「積算チェックアプリ」を導入しています。すべての入札案件について適用し、必要な改良を加えながら運用を重ねているところです。

また、契約適正化を目的とした「入札時積算数量書活用方式」の試行導入も進めており、適正な価格形成と透明性の確保に努めております。

神戸市の営繕部局は、これからも都市の持続的な成長を支えるために、技術革新や業務改善に対し積極的に取り組み、より良い都市環境の創造と保全に努めていきたいと思っております。

最後になりましたが、貴協会のさらなるご発展、会員の皆様の益々のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

地域委員会

兵庫県地域委員 山田 正人

神戸市では「神戸都市ビジョン2035」に向けて大型工事が市内各所で行われています。

また神戸市の営繕工事についても積算分野の違算を防ぐため「積算チェックアプリ」を導入され契約の適正な価格形成と透明性の確保に努められているとの事。

建築工事における積算分野が非常に重要視されてきていると感じます。





地域だより



京 都 府

京都市 都市計画局 公共建築部
公共建築企画課

課長 田村 郁夫

日本建築積算協会関西支部会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、平素より京都市の公共建築行政に対し、格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本市では、平成24年度の基本構想策定から12年をかけ、本年2月に 京都市新庁舎の整備を終えました。

京都市のシンボルである昭和2年に建築された本庁舎の改修を中心に、西庁舎と北庁舎の建替え、分庁舎の新築を行い、不足していた執務空間や来訪者スペース、耐震性能等を確保した、より一体的に機能する庁舎に生まれ変わりました。

この新庁舎整備では、本庁舎を保全しながら、限られた敷地で市民の安心・安全な暮らしを守る防災拠点として、また、環境に配慮した庁舎のモデルとなるべく、様々な工夫を凝らしております。2点ご紹介します。

まず、一つ目が構造です。本庁舎は建築当時の意匠を再現し、その姿を残すため、免震レトロフィット工法を採用。西庁舎と北庁舎を本庁舎と同じ躯体に載せることで、限られた敷地で免震のクリアランスを確保しております。また、道路を挟

んで建てた分庁舎でも新築免震を採用し、上空通路で接続しております。

二つ目は、地下水のカスケード利用です。琵琶湖と同様の水量といわれる豊富で安定した水温の地下水を、放射空調やヒートポンプに利用し、熱利用後はトイレの洗浄水や散水にも利用しています。太陽熱や太陽光発電等の利用と併せることで、環境性、経済性、快適性を総合的に向上させました。

工事中は、一部居ながらの長期工事であったため、騒音や振動、地下水の湧出対策など技術的な課題に加え、激変ともいえる資材高騰への対応が必要となり、先を見通した積算の重要性を改めて認識する機会ともなりました。

建設業を取り巻く環境は、人口減少や物価上昇を背景に、加速する働き方改革やDX化も相まって、めまぐるしく変化しておりますが、引き続き皆様のご協力をいただきながら、適正な設計及び積算による発注に取り組み、より円滑に公共建築行政を推進してまいりたいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、日本建築積算協会関西支部の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

地域委員会

京都府地域委員 道家 武史

地域だよりを多くの方に読んでいただき、京都府、京都市の地域への取り組み、また積算協会の取り組みを一人でも多くの方に知っていただければと思っています。



地域だより



奈良県

奈良県 環境森林部
県産材利用推進課

課長 染川 知之

奈良県の林業・木材産業振興に対しまして、日頃より格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本県は、豊富な森林資源を有しているものの、木材価格の低迷、山村地域の人口の減少、高齢化の進行等の林業をめぐる環境の変化により、林業の収益をもって森林環境を維持することが困難になっています。そのため、本県では、独自の新たな森林環境管理制度を進めるため、令和2年3月30日に、「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」と「奈良県県産材の安定供給及び利用の促進に関する条例」を制定しました。

これらの条例の理念に基づき、川中対策として、製材工場の機械・施設整備に向けた支援などの県産材の加工・流通を促進しています。また、川下対策として、ポータルサイトやSNSによる県産材の情報発信、県産材のPR活動などのブランドの戦略、住宅や店舗、事務所などの非住宅建築物に県産材を使用した際の助成や県内の建築士に建築物の木造・木質化に関する専門的な知識・技能を習得するためのスキルアップ研修等の施策を展開しているところです。

また、木材を建築物に利用することは、長期にわたり炭素を固定することができ、脱炭素社会の実現に貢献することから、県では、令和6年12月に「奈良県の建築物における県産材利用促進方針」を変更し、県が整備する公共建築物については、コスト・技術面で困難な場合を除き、原則、県産材を使用することとしました。県において、材の供給側と材を使って建築する需要側、双方の課題の解決に向けて取り組んでいるところです。

引き続き、日本建築積算協会関西支部の皆様におかれましては、建築物の設計・積算という非常に重要な立場から、奈良県産材の価値を最大限に活かすご助言・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



木造建築を支える技術者
養成セミナーの様子



道の駅クロスウェイなかもち
(令和6年11月開駅)

地域委員会

奈良県地域委員 中本 明

今回は、奈良県環境森林部県産材利用推進課課長に投稿していただきました

県産材を建築材料として広く活用していただくため、建築士を対象とした勉強会・見学会を企画されています。道の駅も奈良市内に完成しています。機会があれば休憩に利用下さい。





地域だより



滋賀県

大津市 建設部

建築課長 岡田 大斉

公益社団法人日本建築積算協会関西支部が設立50周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。

また、平素は大津市の建築行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、令和7年度から大津市総合計画第3期実行計画をスタートし、「夢があふれるまち大津」の実現に向けて取り組んでおり、建築行政においては、主に四つの施策について各事業に注力しています。

一つ目は、「こどもの教育の充実」です。学校体育館への空調設備の設置、学校の長寿命化改良、学校トイレの洋式化・乾式化改修など、安心・安全な教育環境の整備に取り組んでいます。

二つ目は、「災害に強いまちづくりの推進」です。とくに市役所庁舎の整備を重点プロジェクトに位置付け、耐震性能が不足する現在の庁舎本館・別館に代わる新たな庁舎の整備に向けて、基本計画の策定や設計に向けた条件整理などに取り組んでいるところです。

三つ目は、「脱炭素社会の推進」です。本市は、令和4年3月に、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ（カーボンニュートラル）を目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。学校屋上へ

の太陽光発電システムの設置、市有施設における照明のLED化・高効率空調設備の設置など、創エネルギー・省エネルギーの推進に取り組むとともに、本市西北部に位置する伊香立市民センター移転新築事業における地域産木材・びわ湖材の利用など、脱炭素社会の実現に資するための建築物における木材の利用の促進に取り組んでいます。

四つ目は、「持続可能な行財政運営」です。令和6年度から、小学校・中学校・幼稚園・保育所・市民センターの全134施設にかかる点検、修繕、清掃などの建物の維持管理業務を、まとめて外部に委託する包括外部管理業務を導入し、戦略的な公共施設マネジメントの推進に取り組んでいるところです。

人件費や材料価格の上昇が続くなか、いずれの事業につきましても、その成否においては市場の動向を踏まえたコスト管理が重要であり、適切な積算が不可欠でありますことから、引き続き貴協会員のみなさまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりましたが、貴協会のさらなるご発展と会員のみなさまのご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

地域委員会

地域委員として、積算協会の活動を各地でご紹介させていただいております。協会へのお問い合わせやご相談がありましたらご遠慮なくお聞かせください。

滋賀県地域委員 後藤 平



第82回積友会ゴルフコンペのご報告

第82回幹事 道家 武史

恒例の積友会ゴルフコンペが、2025年4月19日（土）に、ワールドカントリーゴルフクラブで行われました。当日は4月とは思えない暑さとなりましたが、総勢15名の皆さんに腕を競っていただき、楽しい1日を過ごす事ができました。結果は若林建二氏がグロス103、ネット72の成績で優勝されました。是非、会員・賛助会員の皆様方におかれましては初参加も大歓迎ですので気軽にご参加の程お願い申し上げます。次回幹事は若林氏、徳原氏で2025年10月に開催の予定です。多数のご参加下さいますようお願い申し上げます。

第82回積友会成績			
優	勝	若林	建二様
準	優	勝	塩月 逸男様
第	3	位	佐藤 稔様
B	B	賞	徳原 永安様
ベスト	G	賞	近藤 勝様
ドラ	コン	賞	多田 誠様
〃			多田 誠様
ニヤ	ピン	賞	近藤 勝様
〃			多田 誠様



左：優勝 若林 建二 氏 / 右：会長 植野 知雄 氏



スタート前 参加者4組15人の皆さま

次回第83回大会は2025年10月開催予定です。会員・賛助会員皆様方のご参加をお待ちしています。

次回幹事 若林 建二 氏／徳原 永安 氏

賛助会員名簿

(2025年4月1日現在)

会 社 名	住 所	電話番号
太陽工業株式会社	大阪市淀川区木川東4-8-4	06-6306-3080
TOMO データサービス株式会社	大阪市北区浪花町14-25 KRD天六ビル 4F	06-4256-8481
小松ウオール工業株式会社 和歌山支店	和歌山市岩橋字宮ノ段997番1	073-473-7811
株式会社後工務店	西牟婁郡上富田町生馬567-1	0739-47-0257
協栄産業株式会社	大阪市福島区福島3-14-24 福島阪神ビルディング 11階	06-6451-9781
サンスチール株式会社	大阪市北区天満3-12-17	06-6881-5552
株式会社ニュージェック	大阪市北区本庄東2-3-20	06-6374-4042
株式会社バル・システム	大阪市中央区北浜2-3-10 大阪松田ビル 7F	06-6786-8945
東洋シャッター株式会社 大阪ビル建支店	大阪市淀川区田川北3-2-4	06-6300-3081
株式会社カルテック	大阪市中央区北浜1-5-5	06-6222-3200
淀鋼商事株式会社	大阪市中央区南本町4-1-1 ヨドコウビル 5F	06-6241-7241
株式会社太陽建設	東大阪市若江西新町	06-6724-2701
株式会社熊谷組 関西支店	大阪市西区鞠本町1-11-7	06-6225-2438
文化シャッター株式会社	大阪市中央区南船場2-11-26 大阪 BX ビル 5階	06-6244-1546
フジモリ産業株式会社	大阪市中央区道修町4-4-10 KDX小林道修町ビル 4F	06-6228-3861
株式会社日積サーベイ	大阪市中央区大手前1-4-12 大阪天満橋ビル 8F	06-6944-2755
株式会社縁 大阪事務所	大阪市中央区安土町3-4-5	06-6264-8210
株式会社ベルテック	大阪市西成区千本中2丁目12-20	06-6651-9200
ジェイアール西日本コンサルタンツ	大阪市淀川区西中島5-4-20 中央ビル 9F	06-6303-1064
日本国土開発株式会社	大阪市淀川区西中島5-5-15	06-6306-6595
株式会社ノバック 大阪支店	大阪市北区梅田1-1-3-3100号 大阪駅前第三ビル 31階	06-4798-8053
ヒデイ建設株式会社	岸和田市土生町7丁目13-8	072-426-5519
AGC 硝子建材株式会社	大阪市中央区伏見町4丁目4-10 新伏見町ビル 6階	06-7636-8730
積水ハウス株式会社	大阪市北区大淀中1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト	06-6440-3241
YKK AP 株式会社	大阪市中央区谷町4-8-7	06-6944-8767
大末建設株式会社	大阪市中央区久太郎町2-5-28 久太郎町恒和ビル 5F	06-6121-7320
アイエスケー株式会社	大阪市西区土佐堀1丁目4番11号 金鳥土佐堀ビル 2階	06-6449-0881

株式会社 アイ 積 算

代表取締役 三 谷 智

〒541-0048 大阪市中央区瓦町2-1-13

瓦町ダイワビル

TEL 06(6201)5301(代)

FAX 06(6201)5305

株式会社 青山建築積算事務所



代表取締役 青山 幸夫

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目6番10号

(本町西井ビル)

TEL 06(6443)0430

FAX 06(6444)2815

株式会社 エーアンドディー設計企画

代表取締役

山 田 正 人

神戸市中央区下山手通4-6-13(〒650-0011)

エクセル山手6階

TEL 078-391-7038(代)

FAX 078-391-7068

E-mail: ad.office@ad-sk.co.jp

有限会社 エース積算

代表取締役 水 野 勝 己

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-4-8

本町KAZビル

TEL (06)6459-4851

FAX (06)6459-4852

建築コスト管理・積算・BIM(モデリング/積算データ移行)・人材紹介(技術者)



一級建築士事務所

株式会社 エステム建築事務所

取締役社長 糸川 英貴

東京
浜松
名古屋
本社
ハノイ

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-2-1 2F

Tel(03)5244-5961

〒430-0928 静岡県浜松市中央区板屋町110-5 12F

Tel(053)450-5106

〒460-0003 名古屋市中区錦1-20-25 4F

Tel(052)212-9280

〒541-0047 大阪府中央区淡路町1-6-9 9F

Tel(06)6220-1901

7 floor Nam Cuong Building, Thanh Binh Street, La Khe Ward,
Ha Dong District, Ha Noi City, Viet Nam.

(厚生労働大臣許可: 27-ユ-302259)

公益社団法人 大阪府建築士会

会 長 岡本 森廣

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17

(高田屋大手前ビル)

TEL (06)6947-1961

FAX (06)6943-7103



株式会社 大 北 積 算

代表取締役 浦 晴 美
部 長 浦 直 希

一般社団法人 日本建築積算事務所協会会員

〒542-0082 大阪府大阪市中央区島之内1-19-3 クレディ長堀橋ビル

TEL (06)6251-5921・FAX (06)6251-5868

URL <https://www.ookita-sekisan.co.jp>

100年をつくる会社

in 鹿島

本社: 東京都港区元赤坂1-3-1 〒107-8388

<https://www.kajima.co.jp/>



後藤平建築事務所

〒520-3043 滋賀県栗東市林73番地

phone.077-552-3940 fax.077-552-4300

taira@gototaira.com



ジャスト建築積算
JUST ARCHITECTURAL SURVEYOR CO., LTD.

代表取締役

宮崎 敬文

Takafumi Miyazaki

二級建築士

建築コスト管理士・建築積算士

ジャスト建築積算株式会社

〒540-0012

大阪市中央区谷町3丁目2番11号 FLAGS 7F

TEL : 06-6940-0527 FAX : 06-6940-0672

Mail : miyazaki@just-as.jp

Mobile : 080-3690-2758

シュアー積算設計株式会社

代表取締役 下 農 均

〒550-0015 大阪市西区南堀江1-18-27
四ツ橋セントラルハイツ308
TEL (06) 6534-0300
FAX (06) 6534-0308

SHOWA SEKKEI

株式会社 昭和設計

代表取締役社長 鳥居 久人

〒531-0072 大阪市北区豊崎4-12-10 昭和設計大阪ビル
URL <http://www.showa-sekkei.co.jp>
電話06(7174)8787 FAX06(7174)8788

建築・土木・インテリア・空間デザイン・ガーデンデザイン ものづくりをめざす学生たちへ

ガ
ッ
ン
!と
動
け
。
ガ
ッ
ン
!と
遊
べ
。
ガ
ッ
ン
!と
学
べ
。



学校法人 修成学園

修成建設専門学校

一級建築士受験資格認定校

☎0120-446-456 <http://www.syusei.ac.jp/>

〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5-19-30
TEL:06-6474-1644(代)

コストプランニングのベストパートナー



株式会社スクエア積算ラボ

代表取締役 宮野 潔

【本 社】

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5丁目7-17 ビジネスVIP第2新大阪602
TEL 06-6195-8375 FAX 06-6195-8376

【UTUBO OFFICE】

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目13-16 川越靱ビル6F
TEL 06-6486-9596 FAX 06-6486-9597

代表取締役 田中 優



有限会社 積 建築工務

〒530-0022 大阪市北区浪花町12番24号 赤坂天六ビル
TEL:06-6147-8146 FAX:06-6147-8147

株式会社 総合積算
<http://www.sogo-sekisan.co.jp>

代表取締役 社長 宮川 剛



本社/大阪 〒530-0044 大阪市北区東天満1丁目11番19号デュプロビル
TEL 06-6351-3466(代) FAX 06-6351-3870
東京事務所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-7京王東日本橋ビル
TEL 03-5687-7888(代) FAX 03-5687-7118

株式会社 大建設計

代表取締役社長 菅 野 尚 教
取締役執行役員 田 嶋 慎 也
大阪事務所

<http://www.daiken-sekkei.co.jp>

〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀 1-13-20 大建設計大阪ビル
TEL 06-6449-6800 東京・大阪・名古屋・九州・札幌・東北・広島・北九州・沖縄
FAX 06-6449-6829 静岡・横浜・京都・松山・徳島・国際・プラント・医療

高 積 算 株 式 会 社

代表取締役 佐田元 敏和

副代表取締役 小谷 靖弘

一般社団法人 日本建築積算事務所協会会員

〒530-0041 大阪府大阪市北区天神橋1-6-6 AXIS201
TEL 06-6356-0162 FAX 06-6356-0262
<http://www.taka-qs.co.jp>

想いをかたちに 未来へつなぐ



竹中工務店

〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13 tel: 06-6252-1201
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1 tel: 03-6810-5000

中和印刷の ネットショップ

1個から作れる!

高品質 安心 価格 小ロット 対応

クリアファイルなどノベルティに! サンプル作成にも便利!

CHUWA
中和印刷紙器株式会社

まずはこちらから→
<https://chuwa.shop-pro.jp/>

中和印刷 検索



〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53 TEL.(073)431-4411 FAX.(073)431-8188



DOISEKI

株式会社 DOISEKI
 ☎ 541-0046
 大阪府中央区平野町3-1-8 プロスパー平野町ビル605
 ☎ 06-4256-2393 ☎ 06-4256-2394
 ☎ 090-1894-7110 ✉ doi@doiseki.com

代表取締役
土井 健嗣
 Kenji Doi

東畑建築事務所
 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

代表取締役社長 President, Representative Director
米井 寛 Yutaka Yonei



株式会社 内藤建築事務所
 NAITO ARCHITECTS

代表取締役社長 川本雄三

本社 京都市左京区田中大堰町182番地
 電話 075-781-4111
 事務所 東京・静岡・名古屋・大阪・神戸・奈良
 広島・四国・九州・南九州・沖縄
<https://www.naito-archi.co.jp>



株式会社 中野積算 大阪支社

大阪支社長 河上 剛 士

〒541-0047 大阪市中央区淡路町1-6-9 DPスクエア堺筋本町5F
 TEL 06(7711)5605
 FAX 06(7711)5607
 本社 〒167-0051 東京都杉並区荻窪5-13-7
 支社 名古屋・仙台・札幌事務所・新潟事務所 ☎ 03(3392)6121



日刊建設通信新聞社
 建設産業の総合メディアNo.1

本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-13-7
 TEL (03) 3259-8711
 関西支社 〒540-0026 大阪市中央区内本町1-3-5
 TEL (06) 6944-9191(代)

NIKKEN
 EXPERIENCE, INTEGRATED

日建設計

代表取締役社長 大松 敦



コストコンサルタント 建築積算・概算 建築積算システム開発
株式会社 日積サーベイ
 NISSEKI SURVEY

代表取締役(会長) 生島 宣 幸
 代表取締役(代表) 清水 達 広

〒540-0008
 本社/大阪市中央区大手前1丁目4番12号 大阪天満橋ビル 8F
 TEL 06-6944-2755 FAX 06-6944-2390
 〒104-0033
 東京オフィス/東京都中央区新川1丁目22番4号 新川ニッテイアネックス
 TEL 03-6822-9244 FAX 03-3206-7112
 URL <http://www.nisseki-survey.co.jp>

構造設計・耐震診断・大規模木造建築物設計
 免震構造設計・PC構造設計/監理

NOBI

株式会社 伸構造事務所

取締役会長 中本 明
 代表取締役社長 中本 篤

〒639-0225 奈良県香芝市瓦口2166番地
 本社 TEL: 0745-71-2200 FAX: 0745-71-2311
 HP: <http://www.nobiso.jp> MAIL: info@nobiso.jp

Higashi 株式会社東建築積算士事務所
 一級建築士事務所

代表取締役 東 泰紀

〒530-0043 大阪市北区天満2丁目1番10号 DoDoビル
 TEL (06) 6358-8872 FAX (06) 6358-8049
<https://www.higashi-sekisan.com>



コストエンジニアリング&コンサルタント
株式会社 二葉積算

大阪支社 支社長 堤 忠 正

〒550-0005 大阪市西区西本町1丁目15番6号(西本町ビル)
 TEL 06(6531)3088(代) FAX 06(6531)3018
 URL <https://www.futaba-sekisan.co.jp>
 本社/東京 支社/東京・名古屋・福岡・札幌

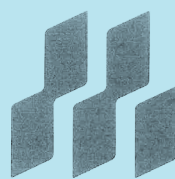
暑中お見舞い申し上げます 2025年

(順不同)

株式会社 Ben建築積算室

代表取締役 西村 克也

〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-6-23
MF桜橋ビル 3F
tel 06-6344-8616 fax 06-6344-8617

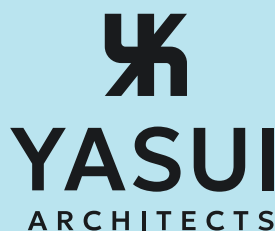


心と技術で明日を築く

村本建設

本社：〒543-0002 大阪市天王寺区上汐4-5-26 TEL:06-6772-8201

<https://www.muramoto.co.jp/>



人やまちを元気にする

安井建築設計事務所

代表取締役社長 CEO
佐野 吉彦



建築積算・情報処理コンサルタント

株式会社 ツグ積算エンジニアリング

代表取締役 矢作 勉

〒540-0023 大阪市中央区北新町4番1号(太田ビル)
TEL (06) 6949-1560 FAX (06) 6949-1670

FUJI PLANNING CORPORATION

代表取締役 藤田 貴司 一級建築士



株式会社 フジ設計

和歌山県和歌山市北ノ新地東ノ丁1番地
TEL 073-499-6727 FAX 073-499-6728

有限会社 元 積 算

代表取締役 木村 幸信

〒530-0046 大阪市北区菅原町5番3号 大宝中之島ビル7F
TEL:06-6316-5527 FAX:06-6316-5541
E-mail: gensekisan@par.odn.ne.jp

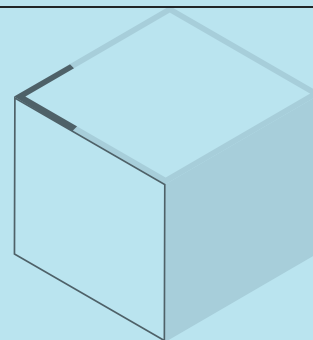
暑中お見舞い申し上げます 2025年

(順不同)

代表取締役

今 田 晴 久

HARUHISA IMADA



株式会社 **CORE・CUBE**

〒553-0001

大阪市福島区海老江5丁目2-2 大拓ビル5

TEL. 06-6225-7530 FAX. 06-6225-7531

mobile. 090-7963-5436

e-mail. h-imada@corecube.co.jp

<https://www.corecube.co.jp/>

令和7年度版

工事歩掛要覧〈建築・設備編〉

令和7年
9月発行



経済調査会積算研究会 編
B5判 約780頁
定価9,240円
(本体8,400円+税)

品確法では「予定価格を適正に定めること」を規定しており、公共建築工事において積算基準類の適用による工事費積算の実施が必須です。

本書は、公共建築工事標準仕様書・積算基準・標準単価積算基準・共通費積算基準・数量積算基準等の最新版に準拠しています。

- 令和7年度の積算基準類等に準拠
- 公共建築工事積算研究会参考歩掛り等も併せて掲載
- 付録に、(令和7年3月からの) 公共工事設計労務単価、他

主要目次

総論

建築工事編

建築工事の積算について

1. 仮設
2. 土工
3. 地業
4. 鉄筋
5. コンクリート
6. 型枠
7. 鉄骨
8. 既製コンクリート

9. 防水
10. 石
11. タイル
12. 木工
13. 屋根およびとい
14. 金属
15. 左官
16. 建具
17. 塗装
18. 内外装
19. 仕上ユニットほか

20. 排水
21. 構内舗装
22. 植栽
23. とりこわし
24. 建築改修

電気設備工事編

電気設備工事の積算について

1. 共通工事
2. 電力設備工事
3. 通信・情報設備工事
4. 改修工事

機械設工事編

機械設備工事の積算について

1. 共通工事
2. 空調和設備工事
3. 自動制御設備工事
4. 給排水衛生設備工事
5. 改修工事

付録

1. 公共工事設計労務単価について
2. 共通費(一括発注工事)の算定例
3. 関数電卓の操作手順例

内容見本

共通費の算出例

〔共通費の計算例〕
●～●をもとに作成した計算例を示す。
共通費は、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等に区分し、それぞれを一括として計上する。

計算例① 建築工事における共通費の計算例
表-47 建築工事における共通費の計算例

工事種別	工期	名 称	直接工事費	共通仮設費率 (%)	共通仮設費
建築工事	18.0	一般工事(新設)	490,020,000	4.16	20,384,832
		とりこわし工事	3,200,000	4.16	133,120
		一般工事(改修)	55,000,000	3.80	2,090,000
積上げた共通仮設費					

型枠

変圧器

● 高圧送電コンデンサ

表-電-2-4-3 高圧送電コンデンサ (1台当たり)

名 称	規 格	高圧送電 コンデンサ 台数	配管工 人	管 材	電 工 人	管 道 工 人	その他	組入費	備 考
高 圧 送 電 コンデンサ (6kV/3kV)	三相 10/12 kvar	1	0.248	0.248					
	15/18	1	0.301	0.301					
	20/24	1	0.442	0.442					
	25/30	1	0.558	0.558					
	30/36	1	0.575	0.575					
	50	1	0.655	0.655					
75	1	1.13	1.13						

SGP-PB

表-機-1-1-2 水適用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PB)
(鉛水・冷排水) ねじ接合 (管端防食無し) (1m当たり)

目 的	管 径	材 料	配管工 人	はつり補修	その他
施工箇所 屋内配管	15	1.10		0.089	
	20	1.10		0.100	
	25	1.10		0.123	
	32	1.10		0.151	
	40	1.10	一式 (管単価 ×0.65)	0.166	
	50	1.10	一式 (管単価 ×0.65)	0.208	
	65	1.10	一式 (管単価 ×0.15)	0.271	
	80	1.10	一式 (管単価 ×0.15)	0.307	
	100	1.05		0.401	
	機械室・ 使用配管	15	1.10		0.107
20	1.10		0.120		
25	1.10		0.146		

※内容見本は令和6年度版です

本書を
テキストとした

建築工事積算セミナーを開催いたします!

開催日 2025年11月28日(金) 会場 新梅田研修センター
10:00～17:00 大阪市福島区福島6-22-20 TEL 06-4796-3371

● お申し込み・お問い合わせは ●

一般財団法人 経済調査会 関西支部

〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7 京阪神淀屋橋ビル8階
TEL 06(6233)2020 FAX 06(6233)2011



講習会 Plaza

検索

Bookけんせつ Plaza

検索

— 事務局だより —

暑中お見舞い申し上げます

会員の皆様におかれまして益々ご健勝のことと存じます。

去る5月28日(水)に支部設立50周年記念式典が、ホテルプリムローズ大阪で実施されました。1部は橋爪紳也先生の講演、2部は懇親会というプログラムで多くの方にご出席いただき盛会裡に挙行することができましたことを心から感謝申し上げます。

さて、今年は、なんといっても大阪・関西万博の開催が大きな目玉かと思います。テレビ報道等での宣伝効果もこれあり、日々万博の入場者数が増えていっているように感じます。いつ頃いくのがベストか思案中で、既に数か月が経過してしまいました。私の周辺には、通期パスを購入し毎週万博に行き楽しんでおられる方もいます。

今は、行動せずとも動画等でリアルに視聴できる時代ですので、だんだんと「好奇心」が「行動」に結びついていかなくなっている気がします。おそらく私が生きている間に日本での万博はこの1回だけではないかと思っています。昨年11月に関西支部アッサル企画で万博工事見学会に参加する機会がありましたので、ビフォーアフターという視点で開催後の万博に、是非足を運んでみようと考えています。

今年の夏は、昨年の猛暑を上回る暑さと予報されております。適度な水分補給と休憩で、この暑い夏を乗り切っていきましょう。

(事務局/大池孝志)

— 編集後記 —

残暑御見舞い申し上げます。

平素より日本建築積算協会関西支部の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

酷暑が続く中、関西の街が賑わいを見せています。特に本年は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げた2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)が大阪の夢洲にて開催されており、建築・都市計画・環境設計といった私たちの分野においても、多くの示唆に富んだ展示や取り組みが注目されています。

建築積算という視点から見ても、万博会場の整備や関連インフラ整備において、コスト管理の重要性が改めて浮き彫りになりました。

多様化・複雑化する社会ニーズに対応しながら、適切な資源配分を行うために、積算技術の果たすべき役割はますます大きくなっていると感じます。

当協会関西支部では去る5月28日に設立50周年記念式典を無事行う事ができました。

昨年より行われた様々な記念イベントの集大成となる大変良い式典を行えたと思います。

ご参加していただいた皆様方、大変有難うございました。

参加できなかった方も今号に記事を書かせていますので読んでいただけると幸いです。

50年という一つの節目を経て、支部報につきましてもさらなる進化を続ける様、頑張っていきたいと思いますので今後とも宜しくお願いします。

HILAU No.92

編集：広報委員会(地域委員会)

三谷・鶴尾・河村・北野・小谷・
寺浦・東・藤野・森田
(藤田・中本・山田・後藤・道家)

発行所：公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部

〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-3-10

TEL 06-6253-1523 FAX 06-6253-1524

印刷：中和印刷紙器株式会社

— 事務局一覧表 —

(本部)	〒105-0014 東京都港区芝3-16-12	サンライズ三田ビル3階	TEL.03-3453-9591 FAX.03-3453-9597
(北海道支部)	〒060-0062 札幌市中央区南2条西6-14	大友ビル8階	TEL.011-206-9383 FAX.011-206-9385
(東北支部)	〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目2-10	仙都会館ビル7階	TEL.022-225-6517 FAX.022-225-8833
(関東支部)	〒105-0014 東京都港区芝3-16-12	サンライズ三田ビル3階	TEL.03-3453-9594 FAX.03-3452-4811
(東海北陸支部)	〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	昭和ビル2階	TEL.052-264-0661 FAX.052-264-0662
(関西支部)	〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-3-10	長堀堂ビル8階	TEL.06-6253-1523 FAX.06-6253-1524
(和歌山支所)	〒640-8354 和歌山市北ノ新地東ノ丁1番地		TEL.073-499-6727 FAX.073-499-6728
(中国四国支部)	〒730-0016 広島市中区鞆町5番8号	青柳屋ビル201	TEL.082-221-9759 FAX.082-221-9794
(九州支部)	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-9-5	池松ビル5階	TEL.092-451-0859 FAX.092-475-1448

令和7年版

公共建築工事積算基準

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部

◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 ◎図書コード3585 ◎B5判 定価10,450円(税込)

国の統一基準である「公共建築工事積算基準」等の最新内容を掲載。
公共建築工事の積算業務に携わる方々必携の書! 参考歩掛り並びに関係通達も収録。

令和6年版

公共建築設備数量積算基準・同解説

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部

◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 ◎図書コード3570 ◎A4判 定価4,730円(税込)

「公共建築工事標準仕様書」との整合を図り、建築設備数量積算の基本的考え方や
計測・計算方法についてわかりやすく解説!

令和5年版

建築数量積算基準・同解説

◎編集/(一財)建築コスト管理システム研究所・(公社)日本建築積算協会

◎発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 ◎図書コード3497 ◎A4判 定価5,280円(税込)

新たに「木造建築」の数量積算規定を加え、
参考資料の「鉄筋参考表」と「鉄骨参考表(溶接延長換算表)」を刷新した最新版。

令和5年版

建築工事内訳書標準書式・同解説

◎編集/(一財)建築コスト管理システム研究所・(公社)日本建築積算協会

◎発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 ◎図書コード3498 ◎A4判 定価5,610円(税込)

新たに追加された「木造建築」の内訳書式を含め、内訳書標準書式の構成、内容及び記載例を掲載し詳細に解説。

令和5年基準

公共建築工事積算基準の解説

建築工事編

設備工事編

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部 ◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所

建築工事編 ◎図書コード3547 ◎B5判 定価11,550円(税込)

設備工事編 ◎図書コード3548 ◎B5判 定価12,100円(税込)

「公共建築工事標準単価積算基準」「公共建築工事共通費積算基準」等の情報を基に
運用に役立つ基本的な考え方と単価作成例を詳細に解説。



株式会社 大成出版社

<https://www.aisei-shuppan.co.jp/>

TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888

〒156-0042 東京都世田谷区羽根木1-7-11

KYOEI 建設DX

Kyoei Construction Digital Transformation

建設DXで未来を共に創造する
～持続可能な建設の道～

建築積算見積システム サブスクリプションサービス

企画・設計・積算



BIM積算アドインツール

Autodesk Revitの建築BIMモデルから、基本設計段階の概算コストを出力するアドインソフトウェアです。概算精度を高めたい、BIMを積算活用したい、コストシミュレーションをしながら設計したい。そんなニーズをすべて満たすツールがここに登場！



RC数量積算システム

FKS RC 2.0

【BIM対応】RC数量積算システム「FKS RC 2.0」
BIM連携で積算業務の効率化を実現
複雑な建物形状にも柔軟に対応
拾い時間の短縮・省力化を追求し、CADとのデータ連携も実現！

画像・図面比較システム

MIIDEL®

100枚の図面比較が約30分で完了！
新旧の画像や図面の変更点をAIが見分けて色でお知らせ

空調衛生・電気設備業 積算見積システム



シームレスな連携で業務の正確性と効率化を実現！拾い漏れ・忘れを防ぎ、拾いデータの活用から集計・見積作成と積算見積業務全体を効率化



見積書作成システム

KYOEI COMPASS 2.0

見積書作成システム「KYOEI COMPASS 2.0」
優れた操作性でスピーディに見積編集！
1,500社以上のお客様にご利用頂いている
見積書作成ソフト



仕上数量積算システム

FKS FN 2.0

【BIM対応】仕上数量積算システム「FKS FN 2.0」
BIM連携で積算業務の効率化を実現
PDF図面をクリックするだけで、部屋形状が自由に作図でき、
面積や周長を自動算出！

公共建築工事 内訳書作成支援システム

【建築・機械設備・電気工事対応】
公共工事専用見積ソフト
公示用設計書を自動で取込み、
わずらわしい転記作業から解放します！



企画・設計・積算

建築・設備見積依頼支援

fes-net

設備工事積算業務の課題を解決！
機器見積作業につきものの、商社・メーカーとの複雑なやり取りを効率化

AIを搭載したLCA & EPDソフト



One Click LCAで地球にやさしい建築を環境製品宣言(EPD)取得のためのLCA算定・検定手配を簡単に専門家による建物のCO2排出量算定

作業所の施工管理支援ツール

Site-PRESS

作業所の施工管理支援ツール「Site-PRESS」
建設作業所の安全管理と品質管理の省力化を支援
作業所と専門工事会社との情報共有が容易になります

案件管理～人員配置の効率化

JCCクラウド

建設業に役立つシステムソリューション。建設業が抱えている問題を専門的なシステムで解決、必要なシステムを組み合わせることで社員の負担を軽減し日常業務を快適に技術者管理、建物管理、工事実績管理、グループウェア、営業支援、入札管理、アフターサービス、要員配置

施工・維持管理

設備施工のBIM化

BIMXD

現場のプロジェクトを3Dデータによって一元管理・リアルタイム共有できるクラウド型の施工支援プラットフォーム

統合FMプラットフォーム

FM-Integration

統合FMプラットフォーム「FM-Integration」
BIMの出口は「FM-Integration」
BIMと連携する統合FMプラットフォーム

KYOEI 協栄産業株式会社 大阪営業本部 営業第二課

TEL 06-6343-9663 FAX 06-6451-9810

〒553-0003大阪府大阪市福島区福島3-14-24 福島阪神ビルディング

E-mail fks@kyoei.co.jp URL https://www.kyoei.co.jp/fks/

